

国際人材フェア・にいがた 2012 開催報告

ERINA 経済交流部研究員 穆堯芋

公益財団法人環日本海経済研究所（ERINA）は2011年6月23日（木）、新潟県内企業と外国人留学生を対象とした就職相談会「国際人材フェア・にいがた 2012」を開催した。

「国際人材フェア・にいがた」はERINAの主催事業として2005年から開催している。北東アジアを中心に海外でビジネスを展開する県内企業が増え、人材確保の視点から外国人留学生の採用に対する関心が高まっていることから、県内企業と留学生に就職相談の場を提供することを目的としている。今回までの開催実績は下記のとおりである。

年度	開催日	会場	参加企業	参加留学生	採用者
2005年	10月28日（金）	長岡商工会議所	9社	60名	7名
2006年	10月27日（金）	新潟市民プラザ	9社	53名	2名
2007年	9月21日（金）	新潟市民プラザ	14社	47名	3名
2008年	5月21日（水）	新潟市民プラザ	18社	69名	6名
2009年	5月22日（金）	新潟市民プラザ	8社	47名	1名
2010年	5月21日（金）	新潟市民プラザ	22社	59名	1名
2011年	6月23日（木）	新潟市民プラザ	19社	85名	4名
計(のべ)	-	-	99社	420名	24名

東日本大地震及び福島原発の影響で、留学生の大半が一時帰国した事態を受け、今年は例年と比べて1カ月遅れの開催となった。しかし今年には財団法人中島記念国際交流財団の助成金を得たこともあって、新潟県内だけでなく、震災の影響を受けた福島県の学生にも参加を呼び掛けた。その結果、学生の参加人数は過去最高の85人に達した。企業の参加社数は19社で過去2番目に多かった。

■開催概要

日時 平成23年6月23日（金）13:00～17:00

会場 新潟市民プラザ

主催 公益財団法人環日本海経済研究所（ERINA）

共催 新潟労働局

後援 新潟県

協力 新潟地域留学生等交流推進会議、にいがた産業創造機構、
新潟県商工会議所連合会、新潟県経営者協会、新潟経済同友会、
ジェトロ新潟貿易情報センター、にいがたインターンシップ推進協議会、

新潟県中小企業団体中央会、新潟県行政書士会
参加者 県内企業 19 社、留学生 85 名
新潟労働局（外国人雇用管理アドバイザー）、新潟県行政書士会（在留資格変更手続相談コーナー）

■プログラム

13:00 主催者代表・共催者代表挨拶

13:05 留学生向け就職ガイダンス

- ・日本における就職活動の進め方と注意点

（株式会社毎日コミュニケーションズ 新潟営業所 就職情報事業本部 星野佳奈美）

- ・留学生 OG による就職体験談

（株式会社きむら食品 姜玉星）

- ・留学資格から就労資格への変更に関する注意事項

（東京入国管理局新潟出張所統括審査官 小川未奈登）

14:00 就職相談会

- ・留学生が企業のブースを順次に移動し、県内企業と就職相談を行う。これと並行して外国人雇用管理相談（新潟労働局）及び在留資格変更手続相談（新潟県行政書士会）を実施。

17:00 終了

■結果概要

参加企業は新潟市をはじめ、三条市、燕市、見附市、長岡市、上越市、津南町など新潟県内広範の地域から集まった。業種は教育、観光、飲食、物流、製造、精密加工、コンピュータシステムの開発、情報サービスなど多岐に渡った。県内で広く知られている大企業の参加もあった。

参加留学生は 85 名、うち中国からの留学生が 69 名で全体の約 8 割を超えた。留学生の専門分野は経済、経営、観光、環境、国際文化、人文、教育、農学、電気、電子、情報サービスなどが挙げられる。理系は 33 人で全体の 4 割近くを占め、文系は 55 人で 6 割を占めた。大学院生の参加者は 49 名、全体の 6 割近くを占め、学部生が 23 名、専門学校生は 13 名であった。大学別では新潟大学の留学生が 33 名と最も多く、長岡大学が 10 名と続いた。福島県から福島大学 4 名、会津大学 6 名がそれぞれ参加した。

当日は就職ガイダンスと就職相談会の 2 部構成で実施した。就職ガイダンスでは、株式会社毎日コミュニケーションズの専門家から日本における就職活動の進め方と注意点について詳しく説明され、その後留学生 OG による就職活動の心構えや面接の準備などの体験談があった。東京入国管理局新潟出張所は留学資格から就労資格へのビザ更新手続きについて説明した。就職相談会では留学生が企業のブースをまわり、事前に用意したエントリーシート（参加申込書）を企業に提出して採用担当者から説明を聞いた。

フェア終了後、参加企業から「予想よりも当社のブースに訪れた学生が多かった」、「実

際に一人一人の留学生と話をし、人となりを知ることができた」、「外国人留学生の就職への意識など、生の声が聞けた」など評価する意見があった。また「もっと多くの留学生に参加してほしい」、「理系、文系と分かるようにしてほしい」、「ブースレイアウトは改善の余地がある」など改善を求める意見もあった。

留学生側からは、「就職のスケジュールやルールなどが理解できた」「留学生先輩の話を聞いて励まされた」、「自分の第1希望の会社があった。とても良かった」などの意見が寄せられたほか、「このような活動は3カ月1回にやってもらいたい」などの意見もあった。

■会場内の模様



・ 就職ガイダンス (1)



・ 就職ガイダンス (2)



・ 就職相談会 (1)



・ 就職相談会 (2)



・ 就職相談会 (3)

以上